



## 志をもって 未来を切り拓け

< 貫く精神 >

自学  
温言温動

### 環境委員長が掃除に対する 思いを全校へ投げかけました

7月7日（月）のお昼の放送で、環境委員長が掃除の取組の結果をもとにして、掃除に対する思いを全校へ語るすばらしい姿がありましたので、紹介します。

これから、月曜日に行われた掃除定着週間の振り返りを始めます。こちらのグラフを見てください。初めの会で、全員が目標を話せたクラスは9クラス中5クラス、全員がチャイムと同時に掃除を始めることができたクラスは3クラス、全員が終わりの会で振り返りを話せたクラスは4クラスでした。また、全員が私語なしで時間いっぱい掃除に取り組めたクラスは、1クラスもありませんでした。取組初日ということもありましたが、まだまだ皆さんの掃除に対する意識が低いと感じます。特に、掃除に関係ない会話を掃除の時間中、ずっと続けている人もいたため、「私語なし」という部分が、特に弱いと思いました。今日の掃除では、特に私語なしを意識できるといいです。

さて、皆さんはなぜ掃除をするのだと思いますか？おそらく多くの方が、「教室環境を整えて、快適に過ごせるようにするため」というような答えをもっていると思います。「いつも生活している学校に感謝し、美しくするため」や「衛生的にきれいな状態を保つため」という答えもあるかもしれません。それらはすべて正しいと思います。

「掃除は、自分のためにもなる」ということについて、少し私の考えを述べさせてください。

今、多くの方は「掃除はできれば、やりたくないもの」と思っているはずです。ただ掃除は、やらなければならない目の前の小さなこと、誰にでもできる単純なことに過ぎません。皆さんは今、「こんな人になりたい」という理想や「こんな職業に就きたい」という将来の夢を抱いているでしょう。そんな大きな夢や理想を実現するためには、目の前の小さなこ

とでも、一つ一つ着実に行うことが必要だと思います。逆に言えば、「掃除すらできな

### なぜ掃除をするのか

い人が、将来何をなし得るのか」、ということです。目の前にやらなければいけないことがある、幼稚園児でもできることがある、というのに「面倒くさい」という理由でサボってしまう人は、将来夢の実現に向けて努力しようとしたときも、きっと日々の努力の積み重ねがないために、思うようにならないのではないかと、思います。また、そのような当たり前のことを地道に、真剣に取り組める人には、自然と信頼が集まるはずで

す。実際、パナソニックという会社を一代で築き上げ、「経営の神様」という異名をもつ松下幸之助さんは、掃除を仕事と同じくらい重視していました。誰にでもできることを自ら実践し、いかに段取りよくできるか考えることが、仕事面での成長にもつながると、彼は考えていました。また、大谷翔平選手もグラウンドに落ちているゴミを自ら進んで拾うように心がけていたり、映画監督の北野武氏も自らトイレ掃除を行っていたりするそうです。多くの著名人や成功者が、掃除を勧めるのには理由があります。それは、自分自身を成長させるからです。掃除をすることで、嫌なことから逃げ出さない自制心を養ったり、自分の心を穏やかにしたり、集中して物事を時間内に終わらせる力、先のことを考え、周囲を気遣う力が身に付いたりします。掃除には、環境をきれいにするだけでなく、自分を成長させ、まわりの人を幸せにできるよさがあります。

ここまでいろいろと話してきましたが、つまり私が一番言いたいのは、「皆さん、掃除に真剣に取り組みましょう」ということです。私の願いは、梅林中の掃除をもっとよりよくして、誰もが快適過ごせる環境をつくることです。

早速、今日の掃除の取組で、1つでも◎のクラスが増えることを期待しています。



環境委員長の話を受けて、今の自分の掃除の姿を見つめ直す機会にしてほしいと思います。

### 3-1朝の会のようすから ～掃除の取組の見直しから～

そんな環境委員長の思いを受けて、7月14日（月）の朝の会では、3-1が掃除定着週間の取組について振り返り、夏休み前の1週間でさらに掃除の姿を高めていこうと、担任の先生が話す姿がありました。



### 3-3英語の授業のようすから ～自分の課題に合わせて、 自主的に取り組む姿～

7月2日（水）の3年3組での英語の授業では、1時間の授業で学んだことについてのまとめの学習として、スタディサプリを活用していました。それぞれの生徒が自分の課題に合わせて、スタディサプリに取り組んでいました。学習班を活用した「協働的な学び」だけではなく、自己課題に合わせて、自分のペースで取り組む「個別最適化な学び」にも取り組んでいる姿であり、授業の終末でしたが、真剣に取り組む姿がすばらしかったです。夏休みにも、スタディサプリを活用して、自主勉強を進めていきましょう。



### 1-1技術の授業のようすから ～自分一人で制作したり、仲間とともに 確認し合いながら制作したりする姿から～

7月3日（木）の1-1の技術の授業では、「仕上がり寸法線までやすりがけをしよう」という課題で、切った木材を直角にしようと、さしがねを使って角度を見ながら、やすりがけをしていました。自分一人で黙々と制作に取り組む姿が見られたり、学習班の仲間に相談したら制作を進めたりする姿がありました。全員が一生懸命に作業に打ち込むすばらしい姿を見ることができました。



夏休みまであと4日、ある先生が授業で話していましたが、「あと少しで夏休みだー」と休みモードに入ってしまうか、「この残りの授業も頑張っていこう」と、学習への意欲を持続させるかでは、あと4日の学校生活の姿だけでなく、夏休みに入ってから姿にもつながります。一人で頑張る自信がないときは、仲間とともに学び合うことを大切にしてみましょう。